



「勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし。」

なんていいますが、僕的には「まさかまさか」の結果でした。

先日の大統領選。勝利をつかんだのは過激発言を繰り返した、ドナルド・トランプ氏でした。

やっぱり、トランプには「マジック」が付きものなのかしらん。なんちて。(^^ゞ

それにしてもトランプ氏は、日本に対しどんなカードを突き付けてくるのでしょうか。

安倍首相が速攻で会いに行かれましたが、やはりこの先ちと不安ではあります。。



トランプといえば、ふと頭に浮かぶのはカードゲーム。

僕の世代なんかは、**キャンディーズ**が歌った「ハートのエースが出てこない」を思い出します。( ^\_- ) ☆



ハートのエースが出てこない

ハートのエースが出てこない

やめられないこのままじゃ

(作詞：竜真知子)



厚生労働省が 2016 年 10 月 28 日に発表した 9 月の**有効求人倍率**は、前月比 0.01 ポイント上回る 1.38 倍。

毎月上昇を続け、なんと 1991 年 8 月 (1.40 倍) 以来、**25 年 1 か月ぶりの高水準**となりました。

有効求人倍率とは、「求人数 (仕事の数)」を「仕事をしたい人の数」で割ったもの。

「社員を募集します」という求人募集が 100 件あってそれに応募する人が 50 人しかない場合、有効求人倍率は「2」となります。

有効求人倍率は、世の中にどれくらい求人 (仕事) があって、それにどれくらい応募 (仕事をしたい人) があるかを表していますので、有効求人倍率は、一般的に高ければ高いほど景気が良くなったことを示す指標の一つとされています。

ところが、会社の採用を担当している方にしてみれば、良い話ではありません。

求職者の数に対し求人数が多いということは、求職者にとって有利だということ。

どうしても、優秀な人材は、大企業や、より条件の良い会社に流れます。

期待する優秀な人材は、なかなか入社してくれなくなります。

そうすると、いくら到着した履歴書 (カード) をめくっても、会社が欲する

「ハートのエース」はなかなか出てきません。

これからは、採用は難しいという前提に立って、御社の中で仕事をしながら

「ハートのエース」を育てていく時代なのです。

「あの人は悪魔」なんて言われぬよう、「年下の男の子」に、「アン・ドゥ・トロワ」で「微笑み返し」して「春一番」を迎えましょう！

ん。暴走。ごめんなさい。誰ですか？「お見舞い申し上げます」って言ってるのは！？ \(\* `ω`)



ところで、「勝ちに不思議の勝ちあり」といえば、僕にもちょっとした**不思議**がありました。

恥ずかしながら 10 月に参加した、詩吟の大会。

参加はしたものの表彰はどうせ関係ないだろうと、自分の出番が終わって表彰式を待たずに早々に失礼したのですが、なぜか入賞していたみたいなんです。

先生からは「なんで帰ったんや」って言われて、「どうしても大事な用があったので・・・」

なんて答えてお詫びしましたが、実は早退の理由はプロ野球の CS があったから。( ^\_ ^ ) ;

いやあ、まさかまさか、本当の理由は言えないっす。詩吟の先生、ごめんなさい。

